

平成24年度 決算報告書
(第9期)

国立大学法人鳥取大学
(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	11,310	11,161	△149	(注1)
施設整備費補助金	800	802	2	(注2)
補助金等収入	108	841	733	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	51	51	-	
自己収入	22,027	23,196	1,169	
授業料、入学料及び検定料収入	3,658	3,638	△20	(注4)
附属病院収入	17,949	18,981	1,032	(注5)
雑収入	420	576	156	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,456	1,660	203	(注7)
長期借入金	567	365	△201	(注8)
目的積立金取崩	1,189	518	△671	(注9)
前中期目標期間繰越積立金	112	249	137	(注10)
計	37,620	38,843	1,223	
支出				
業務費	32,517	32,457	△60	
教育研究経費	14,958	14,821	△137	(注11)
診療経費	17,559	17,636	77	(注12)
施設整備費	1,418	1,218	△200	(注13)
補助金等	108	841	733	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,456	1,484	28	(注15)
長期借入金償還金	2,121	2,097	△24	(注16)
計	37,620	38,097	477	
収入-支出	-	746	746	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、平成24年度補正予算(第1号)の取扱により、予算金額に比して決算金額が149百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、事業計画が変更されたことにより、予算金額に比して決算金額が2百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算額に計上していなかった補助金の受入により予算金額に比して決算金額が733百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料・入学料が減少したことから、予算金額に比して決算金額が20百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、主として病床稼働率上昇による増収により予算金額に比して決算金額が1,032百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、主として科学研究費間接経費収入の増加により予算金額に比して決算金額が156百万円多額となっています。
- (注7) 予算段階では予定していなかった民間等からの寄附金、受託・共同研究の獲得に努めたため、予算金額に比して203百万円決算金額が多額となっています。
- (注8) 長期借入金については、事業計画の変更による借入額の減少により予算金額に比して決算金額が201百万円少額となっています。
- (注9) 目的積立金取崩については、執行計画を見直したことにより予算金額に比して決算金額が671百万円少額となっています。
- (注10) 前中期目標期間繰越積立金については、事業計画が変更されたことにより、予算金額に比して決算金額が137百万円多額となっています。
- (注11) 教育研究経費については、経費の節減、人件費の抑制を行ったことにより、予算金額に比して決算金額が137百万円少額となっています。

- (注12) 診療経費については、(注2)に示した収入の増加に伴い、附随し執行額も増加したために予算金額に比して決算金額が77百万円多額となっています。
- (注13) (注8)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が200百万円少額となっています。
- (注14) (注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が733百万円多額となっています。
- (注15) (注7)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が28百万円多額となっています。
- (注16) 長期借入金については、金利変更等償還計画の変更により予算金額に比して決算金額が24百万円少額となっています。

○「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」のうち、前年度よりの繰越額からの使用額108百万円。

○決算額と損益計算書上の計上額との差異について

教育研究経費、診療経費の決算額と損益計算書上の計上額との差の主なものは、固定資産取得に関わる支出であります。